

## 令和2年度第2回 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会記録

日時 令和3年2月24日(水) 13:00~14:00

場所 医学部本館1階 小会議室

出席者 富田委員長、中西委員、王委員、有賀委員

欠席者 松野委員

関係出席者 吉田病院長、清水副病院長・医療安全管理責任者、熊田医療安全管理室長、境医療安全管理室副室長、廣瀬看護部長、塚田臨床倫理室長、馬場生体支援センター長、鈴木医薬品安全管理責任者、安田副薬剤部長、飯原薬剤師GRM、古井医療機器安全管理責任者、柚原臨床工学技士長、佐野看護師GRM、早野事務部長、畠山総務課長、坪井経営企画課長、太田医事課長、齋藤医療支援課長、杉本総務課長補佐、佐藤医事課長補佐、山田医療支援課長補佐、飯沼医療支援課専門職員、高松総務係長

### 1 開会

病院長挨拶

吉田病院長から開会に先立ち、挨拶があった。

### 2 議題

#### (1) 報告事項

##### ① 令和2年度からの安全管理体制について

清水副病院長・医療安全管理責任者から資料1に基づき、令和2年度からの安全管理体制について、専従医師の配置等体制強化を実施したこと、体制強化が新型コロナウイルス感染症への対応にも寄与した旨の説明があった。

##### ② 令和2年度医療安全管理室の活動について

###### 1) 同意書・説明書の整備について

熊田医療安全管理室長から資料2-1に基づき、同意書・説明書について、患者さんの理解のしやすさを追求しながら、見直し、整備中である旨の説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○:質問 ●:回答>

○術者についてどのように記載するのか。

●責任を持って実施する医師は誰かということコンセプトに「術者」としており、複数の医師名が記載できるよう記載箇所の幅を広げにしている。

○現在600以上の同意書・説明書の整備を実施しているとのことだが、全て終えるにはあとどれくらい残っているのか。

●600以上の同意書・説明書については、まだ一度の校正が終えた段階で、精度が高いものから、順次現場で使用していく予定であり、もうしばらく整備に時間がかかる。

○合併症の記載の部分で患者さんが不安に思うことがあると思うが、そのケアはどのように実施しているのか。

●同席する看護師や意思確認のプロセスについても整備中で、よりきめ細やかなケアを進めていく。

○同意書のボリュームもあり、一般の方には難しい内容もあると思うが、患者さんが理解できているかという点についての配慮や工夫について。

●ご本人が高齢の場合や理解しにくい患者さんについては、同席者として、親権者または家族等の氏名を同意書に記載いただくよう工夫した。

## 2) 画像診断レポート等の確認に関する安全対策について

境医療安全管理室副室長から資料2-2に基づき、読影レポートの確認体制についての整備状況について説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：質問 ●：回答>

○重要症例とする基準は何か。

●放射線科医の判断により原疾患以外の偶発所見に対し、重大な所見（がんの疑い等）があった場合に重要症例としてピックアップしており、緊急性が高い場合や結核等の感染症の症例の場合は放射線科医よりオーダー医に直接速やかに連絡している。

○患者さんがその後未受診だった場合はどう対応しているのか。

●未読の扱いになった場合は、各診療科のリスクマネジャーに連絡し対応を依頼している。

○研修医等ローテートしている医師がオーダーしている場合はどう対応しているか。

●オーダーした時点で医師が所属していた診療科のリスクマネジャーに連絡し対応を依頼している。

## 3) 死亡事例検証の在り方について

境医療安全管理室副室長から資料2-3に基づき、死亡退院時のスクリーニングシートについて説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：質問 ●：回答>

○多職種がチェックすることにより課題が浮き彫りになることはあるか。

●医師だけの視点だけではなく、薬剤関連であれば薬剤師からの指摘や、看護の面から看護師からの指摘があるなど、多職種での確認は大変意義があると認

識している。

#### 4) 令和2年度上半期分のインシデント報告について

佐野看護師GRMから資料2-4に基づき、令和2年度上半期のインシデントの発生、報告状況について説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：質問 ●：回答>

○多職種からの様々な視点でインシデントを報告することが重要であると思うが、1事例で複数報告があった場合どのように対応しているか。

●複数の報告事項としてそれぞれカウントしている。

#### ③ 重点医療機器の定期点検について

柚原臨床工学技士長から資料3に基づき、重点医療機器の定期点検について説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：質問 ●：回答>

○医療機器の増加や、それぞれの部署における医療機器の専門性も高まっていると思うが、対応等で工夫されているか。

●毎週カンファレンスにおいて情報共有していることに加えて、勉強会を実施しスキルアップに取り組んでいる。

#### ④ 令和2年度臨床倫理室の活動状況について

塚田臨床倫理室長から資料4-1に基づき、令和2年度高難度新規医療技術等申請状況について説明があり、引き続き鈴木薬剤部長から資料4-2に基づき、高難度新規医療技術等評価委員会（未承認新規医薬品）及び、生命倫理を伴う緊急医療行為の実施協議の開催状況について説明があった。

○緊急医療行為において、医療行為実施までの時間の余裕が少ない場合の対応について。

●今年度はすべての症例について事前連絡をいただいております、エビデンス等で医療行為内容が担保できる場合は、メール審議等も含めて即日対応している現状である。

### 3 その他

総務課長から次回の日程について、7月頃に開催を予定し日程調整を行う旨、説明があった。

## 資 料 一 覧

- 資料 1 令和 2 年度からの安全管理体制について
- 資料 2 - 1 説明書・同意書 見直しについて
- 資料 2 - 2 読影レポート体制
- 資料 2 - 3 死亡退院時のスクリーニングシート
- 資料 2 - 4 令和 2 年度上半期インシデント報告
- 資料 3 医療機器の点検報告について
- 資料 4 - 1 令和 2 年度高難度新規医療技術等申請一覧
- 資料 4 - 2 令和 2 年度高難度新規医療技術等評価委員会（未承認新規医薬品）開催状況及び生命倫理を伴う緊急医療行為の実施協議開催状況
- 参考資料 1 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会委員名簿  
（令和 3 年 2 月 1 日現在）
- 参考資料 2 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会規程